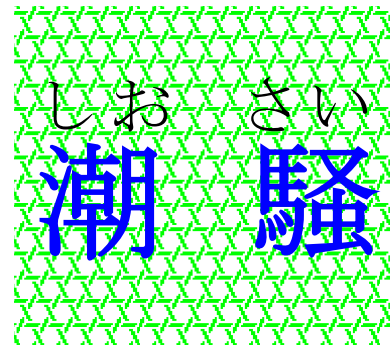




令和4年
2月22日
第 58 号



発行責任者

宗教法人

金光教鳥羽教会

三重県鳥羽市

鳥羽 3 丁目12-15

☎ : 0599-25-3873



ふ
ほう
う
計
報

令和四年二月九日。
午後五時一八分。
教会長・野呂ふさ(享年九十
才三か月)は永眠しました。

皆さまには長い間お世話に
なり、誠に有り難うございま
した。故人になり代わりお礼
申し上げます。
母は、少し前から、寝違えた
ようで首の後ろが痛いと言わ
れ、二月七日に毎月のお薬を
頂きがてら近藤医院で診て

戴き特に悪い所はありません
でしたが、大事を取り二月
八日は一日、ベッドで養生させ
て頂きました。

九日の朝七時ごろ、おにぎり
を部屋に置き、まだ痛い？と
声をかけますと、『休んだら少
し楽になった』と言われまし
た。ご神水と共に、『お腹すい
たでしょう。これ頂いて元気に
なつて』と言いますと、『美味
しそう。有り難う』
と言われ、

食事後に再び横になり、
午後二時半頃、様子を見に行
きますと、まだ休んでいまし
た。『そんなに寝てばかりだと、
夜に寝られなくなるよ』と申
しますと、
『今日は、美枝ちゃん(実妹)
が迎えにくる夢を見たわ』と
言われます。
『そう。良かったね。でも、美
枝さんはまだ元気ですよ。』と
答えると、
『そうやったなあ。ははは』と

言われ、
 幻覚や幻聴を感じ始めた母
 の本心は美枝さんに会いたかつたのかと感じました。私は、
 『首の様子はとうですか？』と聞きますと、
 『だいぶ良くなつた。まだ昼間だけでも、温めたら治るだろうから、神さまにお詫び申して、お風呂に入りたい。』と言われます。
 母はお風呂が大好きでしたので、さぞかし入りたかつた

のでしよう。私が『お風呂が出来たよ』と呼びますと、
 『教行さん。起こして！』と大きな声が聞こえます。
 『寝すぎて力が入らんわ、起きるのに手を引っ張つて』と言われ、私は両手で引き起こしますと、母は普段と変わらな様子で自分で歩き、お風呂に入りました。それが午後三時二十分。私が見た母の最後の生前の姿でした。
 実は私も経験ありますが、母

はお風呂の中で居眠りした事があります。
 その時、約30分で見に行き、『起きてる？大丈夫？』と聞きますと、『気持ちよくて寝てたわ』と言われ、お風呂から出るという事が、この数年に二回ありました。
 前例もあり私は30分待ちました。しかし、母が出てくる様子はありません。私は大声で、
 『大丈夫、起きてる？』『返事

して』と叫びましても、母の返事はありません。
 九十才でも、一応レディーですから、私は少しためらい、二度・三度大声を出して呼びかけましたが、これは変だと思ひドアを開けますと、母は浴槽の中で頭を横向きにして、顔の半分ほどがお湯の中にあり、寝ているようでした。
 私は驚き、服のまま、母の後ろ側から両肩の下の腋に手を入れ、湯船から引き揚げ、

洗い場で上を向かせ救急に連絡し、心臓マッサージをしました。

ときおり、『起きて、目を覚まして！』と言いながら続けると、約十分ほどで救命士が来て、母をご神前に移動し、救急車の中で親教会にお祈り添えの電話取次ぎ頂き、伊勢総合病院に向かいました。処置室で一時間ほど救命処置を受け、命を見つめ続けましたが、

午後五時十八分
齢九十才三か月の命を竟えさせて頂きました。

まつさかおやきょうかい 大阪親教会・横山正治先生
さいしゅ 祭主のもと、阿漕教会・落合まさとせんせい 眞人先生ご奉仕により、
しんがた 新型コロナウイルスにより、
ぶれい ご無礼を承知の上で、
せわ お世話になった方々、ご近所のかたがた、
しんぼうしゃ 信奉者の方々の臨席を辞退させて頂き、
しゆい 終祭（お通夜）を、二月十二日

（土）そして告別式を、二月十三日（日）、いずれも家族・親族での密葬（家族葬）とさせて頂きました。この中で、

金光教教主金光様のご弔辞、金光教務総長、各教会関係からのご弔問、ご弔電、お手紙を頂き、心よりお礼申し上げます。

この後、家族、親族並びに、教会ご信徒の参列で、二月二十二日以降、朔日、とおか、二十三日の各十三時半

より、月例祭に併せ旬日祭として、五十日祭迄祭典を仕えさせて頂きます。

祭典に関わらず、いつでも新霊床への参拝は可能です。

まだまだ寒い時期です。温かい服装、装備を整え、

まずは五十日祭迄、故人と共々に命の御礼を申し上げ、敬い、懐かしみ、私たちを支えて下さる御霊の立ち行きをお祈り申し上げます。

新霊神は皆さまの参拝を、お待ちしています。

※不思議な出来事

さて、葬儀式を通じて感じさせて頂いた事を紹介します。

※昌生先生の時計

とばきようかい 鳥羽教会には、百年ほど経つ、大きなノツポの古時計があります。手動のゼンマイ式で、これが何とも良い『ボッソ』と

いう音を奏でます。そして、いつもは一度巻いても三日間で振り子が止まります。今回、二月八日にねじを巻いて、十一日には止まる筈でした。

その話の前に、

平成二十年。十一月十七日の朝、3代教会長、野呂昌生先生(父)が亡くなった当時、私は沼津に住んでいました。父の計報を受け、自宅から向かう渥美半島の海岸沿いで、

偶然、鳥羽方面から北東(富士山)方向に向かう数百、数千の渡り鳥が見えました。そして、数日後に自宅に戻りますと、玄関、ダイニング、そして私の部屋の掛け時計が、全部止まっています。

その時は、妻と顔を見合わせ、一体どうしたのか不思議に思いました。その時計は、一旦電池を外して付け戻すと、三個とも何もなかったかのように動き出し

ました。父は生前、少し神経質で、会の時計は全部同じ時刻じゃないと気が済まなくて、全部、秒針迄、毎日合わせて回る人でした。

几帳面で、偽りの発言や行動が嫌いで、真一心な感受性の強い人でした。私たちが父の葬後の手続きに翻弄している間に、御霊となつた父は富士山に向かい沼津の私の自宅に寄り、

留守になる私の自宅、そして私たちを見守つて下さり、『渡り鳥と共に、沼津に来たよ。どこにでも行つて守つてやるぞ』と、まるで子供のいたずらのように時計を止めて行かれたのだと感じました。

話を戻します。

二月十一日に止まる筈の古時計は、二月十七日の午後八時まで、なんと九日間も動き続けました。

私は、亡くなった母を父が迎えに来て、古時計が止まらないうよう、三日ごとに巻いて下さったのだと強く感じました。三日しか動かない時計が九日間も動いたのだから、尋常ではない。

また、いつもズレた古時計は、終祭(二月十二日の十八時)の開始時にぴったり秒針を時報に合わせ、鐘を六回鳴らしたのです。少なくとも時計のねじに届

くための脚立は母の寢室の一番奥にあり、二月一六日迄誰も触れなかった。私には、それは、『一時(一瞬)を大切にせよ』という、父の仕業としか思えないわけです。

父は、結婚する際に、二代(野呂與三兵衛)様から、『好きになつた人はどんな人か?』と聞かれ、『何人も人をお導き出coming、素晴らしい人です』と、

信心の経験のない母のことで大嘘をつくほど、大恋愛をされ、好きで好きでしようがなかったと伝え聞きます。その母の事をしみじみ想い、迎えに来た父と母が、どこまでも私たちを支えて下さるという事を感じずにはおれませんでした。偶然だけでは語り尽くせない。また医学や科学で説明のつかない神様の姿・形、そのお力と同じように、見えないと

ところで霊神が永遠に私たちを支えて下さる。

そんな見えないお道の力、天地の道理を目の当たりに見せて頂き、母の新たな出発の前に私を置いてくださった事に感謝の心が生まれました。

『長い間お疲れさまでした。』

お世話になりました。

そしてこれからもずっと私たちをお支え頂き、神様の御用にお使い頂けますようお導き

下さい』
と、毎朝の御祈念時に新霊神
拝詞と共に唱えさせて頂いて
います。

※最後に

コロナによって、普段当たり前
前に思えていた神様の思し召
しが、当たり前ではなかった
事に気付くように、
信心する事は、身の回りにお
きる出来事や、良くない事が

起きる、あらゆる物事の中で
神様に出会い、そして神様に
心を向ける機会へと導いてく
ださいます。

そして、世の中で言う『良く
ない事』の中に置かれた自分
が奇跡の存在である事にも気
付き、あらゆる物や物ごとへ
のお礼が言えるようになりま
す。
それでは、また次号をお楽し
みに！

追伸、
伊勢病院の医師は、母の死因
は血圧の変化で気を失い、水
が肺に入った。苦しむことは
なかっただろうと仰いました。
病や怪我、手術などの痛み
や治療で苦をする事なく、定
期検診の近藤医院以外は入院
も一度も無く、
今日を喜び、明日を楽しみに、
いつも神様にお礼を言わせて
頂き、最後にお風呂に入り、
静かに息を引き取とる。

2003年12月20日 野呂昌生氏と共に



2008年3月20日 奥津城完成記念



これ以上幸せな日、そして
一生は無かったのではと感じ
ます。皆さま、くれぐれもお
風呂で目を閉じて寝る事の無
いようにお気を付けください。
今回は、野呂ふさ美眞道和
おとじの見たまのかみ
大刀自之霊神、そして父を偲
ぶ特集とさせていただきまし
た。文章が長くなりましたが、
最後までお読みいただき、
誠に有り難うございました。
以上

2022年2月22日10日祭



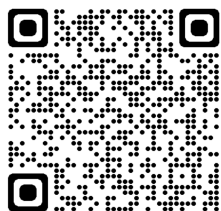


金光教鳥羽教会
教会報『潮騒』第58号
発行 令和4年2月22日

発行責任者 野呂教行
携帯:080-3077-7629

メール:Noriyuki_Noro@konko-toba.com

右のQRコードをスマホで読みますと、
鳥羽教会のホームページが閲覧で
きます



2021年10月29日 90才の誕生日



2022年2月12日終祭 遺影

